



中部大学国際ESD・SDGsセンター SDGs リレートーク

第2回

2023年12月13日(水) 15:20 ~ 16:50

会場：中部大学 リサーチセンター(23号館)1階 国際GISセンター デジタルアース室

開催趣旨：国際ESD・SDGsセンターでは持続可能な社会に向けて、研究や活動を支援し、学生、教員、職員がともに学び合う大学づくりを目指しております。今年度は活動の一環として、持続可能な社会に関わる学びの場、「SDGs リレートーク」を開催しています。

第2回目は、中部大学客員教授の岩本渉氏(前アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長)にお話しいただきます。岩本氏は留学生、日本の外交官、国際公務員として3回にわたりフランスに滞在した経験があり、また、文部省、文部科学省における長年の経験を基に持続可能な開発に関する教育(ESD)の推進、無形文化遺産に関する研究の促進等に携わってきました。今回のトークでは、13年におけるフランス生活の経験を踏まえ、外国で学ぶこと、国際機関で働くことの意味を語り、さらにSDGsと教育、文化の関係について考えます。

演題：「外国で学び働いたこととSDGs」

講師：岩本 渉 氏 (中部大学客員教授、

国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター 前所長)

参加者募集



岩本 渉 氏



1954年神奈川県横浜市生まれ。1977年東京大学法学部を卒業し、文部省(現文部科学省)に入省。1980年パリ第2大学行政学修士課程(DEA)修了。2014年退官するまでの間、1979年から1981年までフランス留学、1990年から1993年まで在フランス日本国大使館に一等書記官として、2001年から2009年までユネスコ(国際連合教育文化科学機関)本部中等職業技術教育部長、社会科学政策部長として勤務した。ユネスコ在職中は、職業教育に関する勧告の改定、スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約の策定等に参画する。帰国後文部科学省参与として、2014年のESDに関するユネスコ世界会議の準備にあたり「あいちなごや宣言」の作成に貢献した。2016年から本年3月まで国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長を務め、無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する研究などを遂行する。現在、中部大学客員教授のほか、フランス語教育振興協会常務理事、アフリカ協会理事を務める。

中部大学国際ESD・SDGsセンター事務局

E-Mail: office@chubu-esd.net

Web-Site: www.chubu-esd.net

Tel: 0568-51-4485 住所: 487-8501 愛知県春日井市松本町1200
リサーチセンター3階

お問合せ

参加申込はウェブサイトで!!

「中部ESD」で検索してください。
QRコードから参加申込フォームに
アクセスできます。



主 催：中部大学 国際ESD・SDGsセンター
協 力：中部大学人間力創成教育院 SDGs 教育課
後 援：中部ESD拠点協議会

